

平成30年度事業報告

I. 事業の概要

当協会の事業は、公益目的事業・収益活動事業・法人に係る事業に大別し、公益目的事業にあつては普及認定活動事業及び地域組織活動事業であり具体的には、公認コースの認定事業、アドバイザー・指導員など指導者の認定事業、機関紙やホームページによる広報事業、さらには愛好者拡大のためのイベントの実施や支援、地域組織の強化を図るための事業などを実施した。

一方、収益事業は用具用品等の認定と書籍・物品等の販売事業を実施しており、クラブ・ボール・ティなどの用具認定に係る益金及びシューズ・ウェアなどのグッズ用品に対する商標権の提供に係る益金、ルールブック等の販売益金が主なものであり法人に係る事業は、法人の管理業務に関するものやその他法人全般に係るものである。

II. 協会運営に関する事項

パークゴルフの正しい普及発展に寄与し、法人としての協会運営の充実を図るため、下記のとおり会議等を開催した。

(1) 平成30年度定時総会

平成30年4月19日(木) 15:00~16:40 札幌市

正会員数 40 団体

出席者数 38 団体

議決事項

- ・平成29年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業報告
- ・平成29年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業会計収支決算
- ・監査報告
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会会費規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会理事及び監事の選任

報告事項

- ・平成30年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業計画
- ・平成30年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業会計収支予算
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会商標管理規程の一部改正
- ・主催大会
- ・功労者表彰

(2) 平成30年度理事会の開催

第1回理事会

平成30年4月4日(水) 14:00~15:30 帯広市

議決事項

- ・平成29年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業報告
- ・平成29年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業会計収支決算
- ・監査報告

報告事項

- ・会員の入会承認
- ・その他

第1回臨時理事会

平成30年4月19日（木）16：50～17：10 札幌市

議決事項

- ・会長、副会長、常務理事の選定

第2回臨時理事会

平成30年9月23日（日）9：50～10：40 旭川市

議決事項

- ・理事会及び定時総会等の開催
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会コース用具の基準
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会パークゴルフ公認コース用具の認定に関する規程
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会パークゴルフコース設置基準の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会公認コース認定規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会パークゴルフ規則の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会パークゴルフ認定審査委員会規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会職員服務規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会役員報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会役員報酬及び費用弁償支給要綱の一部改正
- ・第34回パークゴルフ北海道オープンについて

報告事項

- ・会員の入会承認及び退会
- ・公認コースの認定
- ・その他

第2回理事会

平成31年2月14日（木）14：00～16：00 帯広市

議決事項

- ・2019（平成31）年度功労者通常表彰の決定
- ・2019（平成31）年度事業計画・収支予算
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会職員給与規程の一部改正
- ・債権放棄

報告事項

- ・会員の入会承認及び大会
- ・公認コースの認定及び取り消し
- ・その他

※組織概要（2019（平成31）年2月6日現在）

①日本協会加盟団体（会員数）	864		
【正会員（連合会）】	40		
【普通会員】	441	【コース会員】	333
【一般賛助会員】	37	【工業会賛助会員】	13
②コース数	1,211コース（うち公認コース	349コース	

Ⅲ. 事業の実施に関する事項

1. 公益目的に係る事業

日本国内におけるパークゴルフの普及振興を図り、もって人々の心身の健全な発達と生涯スポーツの振興に寄与するために次の事業を実施した。

(1) 認定事業

1) コース認定事業

○新規申請及び更新申請コースを随時審査・認定した。

（認定審査委員会は、原則隔週木曜日に開催）

新規9コース、更新75コース、増設4コース

2) 指導者認定等事業

○パークゴルフの普及・指導にあたる指導者を養成し、かつ資質の向上を図り、組織的指導体制の確立を図るために実施した。

実施主体 各連合会、市区町村協会、日本協会 53回実施

指導員 1,139人、アドバイザー 686人

(2) 普及事業

パークゴルフ発祥の原点である「自然を大切に・世代間の交流・安全で楽しいスポーツ」を理念として愛好者の拡大を図るために各連合会及び協会が各種事業を実施した。

(1) パークゴルフふれあい事業

①新しいパークゴルフ愛好者への普及活動

- 初心者教室
- 小・中・高校生への啓蒙活動・学校への出前教室等
- 三世代パークゴルフ交流会を各地で開催
- 健常者と障害者とのパークゴルフ教室や交流大会
- 連合会等普及活動事業支援（13事業）

②地域間交流、世代間交流を推進するための大会の開催及び後援活動

○日本パークゴルフ協会の主催事業（3事業）

- ・「NPGA杯第8回全日本パークゴルフ大会2018」北海道旭川市・鷹栖町9月22・23日（土・日）チャンピオン大会238人、交流大会133人、ペア大会154人、親子・ハンディキャップの部30人 合計555人参加
- ・「第32回パークゴルフ国際大会」北海道幕別町6月17日（日）264人参加（小学生28人、中高生6人、外国人13ヶ国57人、一般・シニア日本人173人）
- ・「第32回パークゴルフ北海道オープン」北海道滝上町7月8日（日）166人参加

○地域連合会との協賛大会

全国大会（6大会）

- ・「第22回パークゴルフ全国交流大会 さくらカップ」宮城県大崎市
5月12・13日（土・日） 431人参加
- ・「パークゴルフ全国大会 りんどうカップ2018」岩手県洋野町
6月9・10日（土・日） 268人参加
- ・「第5回全国パークゴルフ十和田大会」青森県十和田市
7月28・29日（土・日） 232人参加
- ・「第12回全国パークゴルフ交流大会 in 射水」富山県射水市
9月9日（日） 360人参加
- ・「第九回全国パークゴルフ東京大会」千葉県酒々井町 10月14日（日） 340人参加
- ・「2018相馬松川浦カップ全国パークゴルフ選手権大会」福島県相馬市
12月1・2日（土・日） 480人参加

○複数パークゴルフ協会連合会共同主要大会（7事業）…………… 2,111人参加

○ねんりんピック富山2018 11月4・5日（日・月） 29チーム 135人参加

③パークゴルフ協会等の組織強化の取り組み

○協会、連合会設立に向けて各地域との相談業務

○平成30年度 都道府県パークゴルフ協会連合会連絡会議

平成30年4月19日（木）13:00～14:30 札幌市

連合会役員、日本協会理事など関係者 69人出席

議 題

- ・ブロック会議について
- ・日本レクリエーション協会への加盟について
- ・「NPGA杯第8回全日本パークゴルフ大会北海道上川 in 旭川2018」について
- ・「第32回パークゴルフ国際大会」開催要項
- ・「第32回パークゴルフ北海道オープン」の開催要項
- ・その他

○ブロック会議の開催

- ・全国8会場でブロック会議を開催
- ・各連合会の会長、事務局長、主任指導員、日本協会の会長等延べ164人出席
- ・日本協会や各連合会が抱える課題、日本協会への要望、ルールなどについて検討、協議を行った。

④体育協会等の連携促進の取り組み

- ・日本レクリエーション協会への加盟について、事務手続きを進めた。

⑤パークゴルフの日（8月9日）の宣伝活動の実施

- ・全国の連合会で大会・交流会・教室等を実施

⑥海外普及活動

- ・パークゴルフの正しい普及を図るため、パークゴルフの国際組織の設立について韓国内のパークゴルフ組織を統轄する大韓パークゴルフ協会と協議を行った。また、アメ

リカ、ブラジル、パラグアイ、スウェーデンなどのパークゴルフ協会に対して、国際組織の設立について情報を提供するとともに、協力を要請した。

(2) 広報事業

協会機関紙の発行は、年5回（奇数月発行・合併号1回）で毎号約9100部発行。NPGA全会員、指導員、関係機関等に配付及び定期購読者へ配付、各地域の普及活動を紹介し、愛好者の増大につながる情報を伝えた（スポーツ振興くじ助成金を活用）。ホームページを運営し、広くパークゴルフの認知拡大を図った。

- ・会員、指導員等への配布部数の見直しを行った。
- ・ホームページの新規作成を行った。（スポーツ振興くじ助成金を活用）
- ・普及用DVDを作成した。
- ・全国の未加盟パークゴルフ場の調査結果に基づき、コース会員への入会案内に取り組んだ。（継続事業）
- ・パンフレットやポスターを、より広く配布することによる広報活動を行った。（継続事業）

(3) 研修会等事業

○ 指導者研修会の開催

パークゴルフの指導にあたる指導者（アドバイザー・指導員）の資質の向上を図るために実施

実施主体 各連合会、市区町村協会、日本協会

延224日実施、指導員 2,955人、アドバイザー 2,567人

2. 収益目的に係る事業

(1) パークゴルフ用具の認定

- 公認申請用具（新規・更新）は、認定審査委員会を開催し、認定した。（認定審査委員会は、原則隔週木曜日に開催）

平成30年度パークゴルフ用具の認定数（認定シール発行数）

認定品目	商社数	認定数	備考
クラブ	12社	44,800本	
ボール	8社	174,700個	
ティ	5社	19,400個	

(2) 商標使用申請の承認は、認定審査委員会を開催し、承認をした。

（認定審査委員会は、原則隔週水曜日に開催）

- ・使用料免除 16件（うち工業会賛助会員2件・営利目的外14件）

(3) 書籍等販売事業

- パークゴルフの正しい普及のため、「パークゴルフ・ルールブック等」を販売した。
 - ・ルールブック 1,145冊
 - ・ミニブック 日本語 2,120冊、英語 50冊
- パークゴルフの普及のため、「バッチ・のぼり」を販売した。
 - ・パッキーのぼり 235枚
 - ・表彰用メダル 126個